

筑後市地域自立支援協議会

相談支援部会

令和5年1月12日（木）

Zoom開催

今回のテーマは・・・

介護支援専門員と合同研修

毎年開催

それぞれの業務や立場を理解し日頃の業務専門分野以外の知識を深めていくため、お互いに協力し連携を図ることを目的に実施しています！



参加者

- ・ 居宅介護支援専門員32名
(市内居宅介護支援事業所、筑後市包括支援センター)
- ・ 相談支援専門員11名 (市内相談支援事業所)
- ・ その他関係機関6名

合計 49名

Q 支援をする中で、やりがいやうれしく感じることは？



・ **信頼関係が構築できている過程**などやりがいを感じる

・ 利用者が困っていることを解決したときの喜びがある。調子が悪くなった、ここが動くようになった、できるようになったと言われた時は嬉しい

・ 設定した目標を達成したときに涙を流して話す姿をみたときはよかったなと思った

Q 意思疎通が難しい方に対して、どのように工夫していますか？

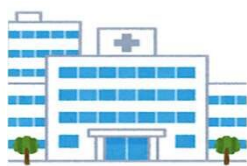


・ ジェスチャーや筆談、「はい」「いいえ」で答えられる質問をする

・ 周囲の方（家族など）本人を知っている方に代弁してもらったり、本人の元気だったころ、生き方などから想像し家族とすり合わせたりする。周囲の方の力を借りる

・ **個人で対応せず組織で対応する。担当者が変わっても継続した支援ができるように。**支援者は反応なく落ち込むが、チームのみんなが励ましてくれる

Q 医療機関との連携方法は？



・ 先生との連携をとる事が増えた。**主治医との連携シート**を作成し活用している。ソーシャルワーカーとの連携時もシートを活用している

・ **病院のソーシャルワーカーや訪問看護**を通すことが多い。また、医療機関に併設されている事業所に頼ることもある

Q 障害福祉サービスから介護保険へ移行する際に困っていることは？

・ 障害サービスは**自己負担がない**方が多い。介護保険に移行する前にできるだけ早くから制度の説明をするようにしている

・ 介護保険の申請や調査についてどうしたらいいか→**担当地区の包括ステーション**に相談



まとめ

本人のみの支援だけではなく家族や地域など広い範囲での支援が多くなっていると感じました。障害分野と介護保険分野でお互いにかかわることができいい機会になりました。お互いに「**顔の見える関係**」が構築できたので今後の支援に活かしていけたらと思います。

